



東京金山会通信 No.26

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

東京のゴールデンウィークは2年連続「我慢」でした。どうか一刻も早く、ふるさとへ自由に帰り、仲間たちと楽しい時間を過ごせる時間が戻ってくればと願うばかりです。さて、今回は不定期連載の「東京金山コラム」と「都会でがんばる金山町出身者」をお届けします。

「東京金山コラム」Vol.5 「銀座線」

宿場町の面影と「マルコの蔵」をはじめとした大正浪漫の良い時代の風景をとに残す金山。東京都心は、関東大震災や戦災もあり、当時のままの現存する風景をお伝える場所が思い当たらず、「谷根千」地域くらいでしょうか。やはり金山は大正浪漫を誇れる歴史を持っている街と実感します。地下鉄銀座線の銀座駅ホームはタイムマシンのようで、昔の銀座に出会えます。よく見る写真ですが、壁面がモノトーンで大きく、歴史を感じるものばかり。浅草から銀座までの銀座線の地下は、大正より昭和を実感出来る場所が多く残っています。東京へいらしたら、昭和2年開業、大正浪漫には少しだけ遅刻してしまいましたが、立派な「アジア初」の地下鉄「銀座線の旅」いかがでしょうか。



昭和2年に浅草-上野間で開業した銀座線は昭和9年に銀座へ乗り入れ銀座駅開業の1934年-2027年の約100年間の街並みが壁面に描かれています

【都会でがんばる金山町出身者】 12人目は小野寺祥子さんです



七日町出身の小野寺祥子です。私はインテリアコーディネーターとして住宅リフォームの仕事をしています。アイデアがチーム皆の力で形になって、お施主様と一緒に喜びることができた時のワクワク感が日々の活力です。打合せ、現場とパタパタの毎日ですが！コロナ禍、1年以上も帰省出来ずにいますが、今年の夏こそは上台坂からの見慣れた美しい景色と、そして漂うニラの香りを感じたい!!と激しく思うGW前の日々です。

No.184 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



「ゴロゴロゴロゴロ」
(あきびんご/作 くもん出版)

海の上を旅してきた雲。体が疲れて、お腹がゴロゴロゴロゴロ。やっと陸地まで辿り着き、山の上でぐっすり眠って元気になった雲は、お礼にクニクニクニ、クルクルクル。大きなソフトクリームを置いて行った。暗くなると、お月さまが降りてきてペロペロペロペロ。食いしん坊のお月さまはやめられない。ソフトクリームはどんどんなくなり、お月さまはどんどん膨らんでいって、お腹がゴロゴロゴロゴロ。お月さまはフラフラ下に落ちて行き、山に尻餅をついた。お月さまはおいしそうな匂いがして、今度は山がお月さまにかぶりついた。そして…。



※()内作者名

東大×SDGs (東京大学未来社会協創推進本部) / 死にざま図鑑 (伊藤賀一) / ツコミ読み!裏切りの日本昔話 (なかだみかこ) / 悪の芽 (貫井徳郎)

血も涙もある (山田詠美) / うしろむき夕食店 (冬森灯) / 八つ目刀で切られた小太郎爺 (鮭川の民話と伝説) / キャラ絵で学ぶ! 仏教図鑑・キリスト教図鑑・神道図鑑 (山折哲雄)

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



『キャラ絵で学ぶ!地獄図鑑』 (山折哲雄/すばる舎)
豚にキスされ続ける地獄や、虫に頭から食べられる地獄など、かなり怖い「地獄」。日本では中世に仏教のお坊さんが書いた「往生要集」がそのイメージの原形となっている。これがまた過激、過剰、恐怖設定が勢揃い。本書では、そんな怖くて面白い地獄について、怖力ワイイ絵を使いながら徹底解説。



『大人も知らない!? SDGs なぜにクイズ図鑑』 (笹谷秀光/宝島社)
世界的なトレンドとなっている「SDGs (持続可能な開発目標)」がクイズ形式で学べる入門書。「世界で学校に行くことができない子供はどれくらいいる」「気候変動によって生きていけない生物は何種類」など、クイズを解いて楽しみながらSDGsを学べる1冊。

今月は8冊!

地域おこし協力隊 通信 No.1

隊員 本間 まさき 眞生

季刊かわらばん「やんばい」をはじめます!



4月から、金山町に就任した本間眞生です。私の活動の1つとして金山町の魅力を町内外に伝えるかわらばん第1号を発行しました!広報と一緒に配布しますので、ぜひお手にとって読んでいただければと思います。今回のテーマは「山菜」です。今まで山菜に触れる機会がなかった私にとって、一つ一つの過程が感動でした。最初は山菜が草が見分けが付きませんでした。が、教えてもらい、見つけられた時は本当に嬉しかったです。また、採るだけではなく、手間暇かけて処理をする。そしてやっと食べられるという一連の体験から、山菜のありがたみを肌で感じる事ができました。食べ物を買って食べるのが当たり前だと思っていました。ですが、自分で採って、採って、下準備して食べる。それは生き抜く力そのままで感じました。山菜を採ること、処理して



町内の方と山菜を採りに行きました!



Facebookで活動を発信しています!ぜひチェックしてください!

料理できること、これは当たり前のことではなく、すぐ価値のあることなのではないでしょうか。もっと、金山の文化や手仕事や暮らしの知恵を教わりたいです。また、町の中で活動している団体などを知りたいと思っています!私が感じた金山の日常の魅力フェイスブックなどのSNSで発信していきます。フォローのほどよろしくお願います!

ふんばい

金山杉俳句会報 第四五二回

生きている者全て母在り春の月 風に散る満の華やぎ山桜 岸 あき子	星川 キエ子	もの影の亡夫を偲ばむおぼろ月 深呼吸刻を待たずに木々芽吹く 荒屋 阿部 勝利
桜まじ最上の里へ花だより 連山の斑に見ゆる山桜 高橋 洋子	七日町 青柳 キエ子	清流の音色に育つわさび沢 今朝のそら見間違ひたり花の冷 菅 越 庄司 けみ子
伐採の木魂流るる春日和 石垣の雨に項垂れ董草 鶴沼 よし子	古民家の百年の梁花匂ふ 公園の堀を埋めし花筏 羽場 坂本 徳太郎	連風の数は児童の数ならむ 国道の上りにもある鴉の巢 上 台 阿部 一步
風吹きて桜ふぶきの中に立つ 花冷えに寄添ふ二人睦まじく 阿部 一代	田畑には連休のなほ五月空 残雪の鳥海凜と浮き立てり 七日町 村松 奈風	
震災後十年耐えしさくらかな 送迎車待てば万葉のさくらかな 阿部 サタエ	侘寂を纏ひ日暮れの落ち椿 日の捲り速きは田の面鳥帰る 七日町 村松 奈風	

かねやま紅風会

やましん歌壇で入選した作品を紹介します

大滝 保 選

哀草果翁の作詞の校歌時を超へ
歌心継がれてこの町栄ゆ
岸 綾子

井上 菅子 選

寡婦となり旧家守りて来しわれの
腕の太さよ明日も励まむ
岸 綾子